



2026年4月3日
独立行政法人国立科学博物館

コレクション特別公開「さくらそう品種展」 開催および報道内覧会のご案内

国立科学博物館 筑波実験植物園(園長 遊川 知久)において、4月18日(土)から4月26日(日)まで、コレクション特別公開「さくらそう品種展」を開催いたします。

サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。

そのわずか **1 種の野生種** をもとに、江戸時代から現代までに **多様な園芸品種** が作出されてきました。

今年も本特別公開では、筑波大学が保有するコレクションの中から、100種類以上の園芸品種を展示します。野生のサクラソウに関する研究や、さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立までをご紹介します。

江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をぜひご覧ください。



多様な色、姿、形の園芸品種を 100 種類以上展示

つきましては、展示のオープンに先立ち、4月17日(金)14時30分～15時30分の間、報道内覧会を筑波実験植物園(茨城県つくば市)にて実施いたします。是非、この機会にご参加いただき、記事の掲載など広報に関して特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

報道内覧会への参加をご希望の方は、下欄のお問い合わせ先にご一報のうえ、14時15分に筑波地区研究管理棟1階 玄関ホールにお越しください。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館 経営管理部 研究推進・管理課

研究活動広報担当: 稲葉 祐一 久保田 美咲

担当研究員: 田中 法生 筑波実験植物園 研究員

(植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館 WEB サイト

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園 WEB サイト

<https://tb9.kahaku.go.jp/>

コレクション特別公開「さくらそう品種展」 開催概要

1. 目 的 日本の野生サクラソウをもとに作出されてきた園芸品種を、江戸時代から続く伝統園芸の雰囲気で開催し、その作出の歴史を科学的な知見とともにご紹介します。
2. 名 称 コレクション特別公開「さくらそう品種展」
3. 主 催 独立行政法人国立科学博物館 筑波実験植物園
筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
4. 協 力 筑波大学さくらそう里親の会
NPOつくばアーバンガーデニング
5. 会 期 2026年4月18日(土)～4月26日(日) 計8日間 (休園日:4月20日(月))
6. 場 所 教育棟およびその周辺

7. 展示構成

(1) 第一会場 教育棟

【さくらそうを知る】

- ① サクラソウとは
さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立についてパネル紹介
- ② さくらそう専門家の推し品種(専門家のおすすめの品種を紹介)
- ③ さくらそう品種保存の現場を紹介(里親さんのご自宅拝見、制度の紹介)
- ④ 芽分け作業の解説(スライドショー)
- ⑤ クイズラリー(景品はシール)
- ⑥ スタンプラリー(景品はシール)

【さくらそうを育てる】

筑波大学とさくらそう里親の会が育てたさくらそうの販売を行います。

お気に入りの1点ものをお買い求めいただけます。

※当日分がなくなり次第終了します。

※一人当たりの購入数制限がございます。

(2) 第二会場 日本庭園周辺(教育棟周辺)

- ① 桜草花壇
江戸時代に築かれた伝統的な手法で展示
- ② さくらそう展示台6台
常時100種類以上を展示



伝統的な鑑賞方法「桜草花壇」



サクラソウ自生地の様子

8. 関連イベント

①講座

■植物園研究最前線「シコクカッコソウ遺伝子資源から見えてきた花の色の多様性」

シコクカッコソウは四国に自生するサクラソウ科サクラソウ属の植物で、愛媛大学にはシコクカッコソウの遺伝子資源コレクションがあります。本講座では、この遺伝子資源を解析して分かった花の色の変異について紹介します。

日時 2026年4月25日(土)13:30～15:00

会場 研修展示館3階 セミナー室

定員 30名(要事前予約・開催1か月前から筑波実験植物園ホームページにて募集開始します。)

講師 水野 貴行(筑波実験植物園 研究員)

コレクション特別公開

さくらそう品種展

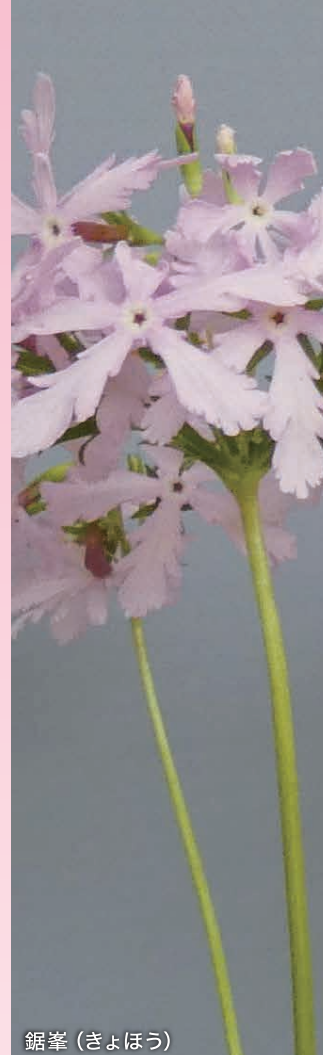
筑波大学コレクションの中から一〇〇種類以上の園芸品種を展示



薄蛇の目 (うすじゃのめ)



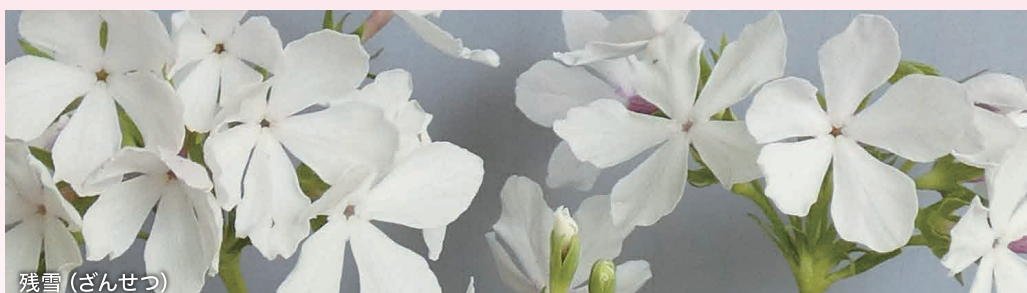
金孔雀 (きんくじゃく)



鋸峯 (きょほう)



天晴 (あっぱれ)



残雪 (ざんせつ)

開花状況により、写真の品種が展示されないこともあります。あらかじめご了承ください。

2026

4.18_土-4.26_日

筑波実験植物園

【開園時間】 9:00~16:30 (入園は16:00まで)

4/25(土)・26(日)は9:00~17:00 (入園は16:30まで)

【休園日】 4月20日(月)

4月19日(日) 無料入園日
オープンラボ開催

最新の情報は
こちらから →



【入園料】 一般 320円 団体(20名以上) 250円

高校生以下および65歳以上は入園無料 障害者手帳をお持ちの方およびその介護者1名無料

【主催】 国立科学博物館 筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

【協力】 筑波大学さくらそう里親の会、NPOつくばアーバンガーデニング



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998 <https://tbg.kahaku.go.jp/>

サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。その野生種をもとに、江戸時代から現代までに多様な園芸品種が作出されてきました。「さくらそう品種展」では、筑波大学が保有するコレクションの中から、100種類以上の園芸品種を展示します。江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

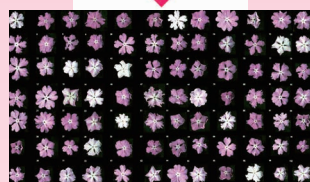
第一会場「教育棟」

さくらそうを知る

さくらそうとはどのような植物か？野生のサクラソウから、さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立までを、パネルで解説します。



サクラソウの自生地の様子



園芸品種の交配から生じる多様な色・形

「さくらそう専門家の推し品種」

さくらそうを究めた専門家が、おすすめの園芸品種と鑑賞のポイントをパネルで紹介します。さくらそうを見る眼が変わるかも？

「クイズラリー」

さくらそう解説パネルを読みながらクイズに答えて、さくらそうについての知識を深めましょう。参加者には「さくらそうオリジナルシール」をプレゼント。

※数に限りあり。無くなり次第終了



シール(イメージ)

さくらそうを育てる

筑波大学と「さくらそう里親の会」が増殖したさくらそう品種を販売します。

※当日分が無くなり次第終了します。

※一人あたりの購入数制限あり。



第二会場「日本庭園周辺」

1種の野生種から作出されたとは思えないほどの多彩な色、形、姿をお楽しみください。



①桜草花壇：江戸時代に考案された観賞方法



②会期中は、100種類以上の園芸品種をご覧ください

【講座】植物園研究最前線 要事前予約 「シコクカッコソウ遺伝子資源から見てきた花の色の多様性」

シコクカッコソウは四国に自生するサクラソウ科サクラソウ属の植物で、愛媛大学にはシコクカッコソウの遺伝子資源コレクションがあります。本講座では、この遺伝子資源を解析して分かった花の色の変異について紹介します。

詳細はこちらから →



【日時】4月25日(土) 【時間】13:30~15:00 【対象】高校生以上 【定員】30名 【講師】水野貴行(国立科学博物館 筑波実験植物園)

アクセス

電車・バス

- つくばエクスプレス「つくば」駅より
- ・つくバス 北部シャトル筑波山口行き「天久保(筑波実験植物園)」下車 徒歩3分
- ・関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車 徒歩3分または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車 徒歩10分

自動車

- 常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km
- 圏央道 つくば中央I.C.から約7km
- 無料駐車場 約120台

